

2021.3.08

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

アストンマーティン、フォーミュラ 1®のオフィシャル・セーフティーカーに選定

- アストンマーティンのスポーツカー、Vantage をベースにした車両がフォーミュラ 1®のオフィシャル・セーフティーカーに選定
- アストンマーティン DBX はフォーミュラ 1 の®オフィシャル・メディカルカーに決定
- 両モデルともに、3 月 12 日から 14 日までバーレーンで開催されるプレシーズン・テストでデビュー
- アストンマーティン・レーシングの成功の軌跡がセーフティーカーの開発に貢献



2021 年 3 月 8 日、ゲイドン(英国):

今月末、ついにアストンマーティンが FIA フォーミュラ 1 世界選手権®の舞台に復帰します。開幕戦のガルファエア・バーレーン・グランプリのスターティング・グリッドに並ぶのは 2 台のレースカーではありません。フォーミュラ 1®の歴史において初めて、ウイングマークで有



ASTON MARTIN

名なこの英国のラグジュアリーブランドが製造する車両が、オフィシャル・セーフティーカーおよびメディカルカーに選定されました。

このセーフティーカーは、世界最速のレーシングカーが走る F1 レースにおいて、必要に応じて介入を行い、ペースをコントロールするというきわめて重要な役割を担います。そのため、製品ラインナップ中でもっともパワフルなアストンマーティン Vantage をベースとして特別仕様車が開発されました。英国ゲイドンのアストンマーティン本社に在籍する、経験豊かなチームが開発したこの車両は、シャシーと空力性能に大きな改良が加えられています。FIA が定めた規格に準拠させるため、さらに数箇所の変更が加えられたこのセーフティーカーは、Vantage のパフォーマンスを限界まで引き上げています。

アストンマーティン初の SUV としてきわめて高い評価を受けている DBX は、フォーミュラ 1®のオフィシャル・メディカルカーに選ばれました。これにより、緊急事態が発生した場合、そのパワーとハンドリング性能をフルに発揮して医療チームを現場に急行させることができます。

アストンマーティン Vantage - フォーミュラ 1®オフィシャル・セーフティーカー

フォーミュラ 1 のセーフティーカーを担当して 20 年以上の経験を持つ FIA 指定ドライバー、ベルント・マイレンダー（独）がステアリングを握るこのアストンマーティンは、レース中つねにピットレーンで待機しています。

悪天候や事故発生時、セーフティーカーはレースコントロール担当者の判断によってサーキットに導入されます。かつてレースに参戦していた経歴を持つドライバーのベルント・マイレンダーとコ・ドライバーのリチャード・ダーカー（英）がセーフティーカーを運転してレースカーの先頭に立つと、各車のペースをコントロールして事態の解決を待ち、またサーキット・オフィシャルの安全な事故対応を可能にします。

F1®マシンは、理想的ではない低速走行が続くとタイヤの温度が下がってしまうため、オフィシャル・セーフティーカーもまた速いラップでサーキットを走行できなくてはなりません。アストンマーティン・ラゴンダ最高経営責任者（CEO）のトビアス・ムアースは、その要件をもとにエンジニアリングチームに指示を出し、スポーティな Vantage のサーキット・パフォーマンス向上とラップタイム短縮に取り組みました。



ASTON MARTIN

その結果、出力は 25PS 向上して 535PS を達成。搭載されているのは排気量 4.0 リッターのツインターボ V8 エンジンで、0～60mph(約 96km/h)の加速はわずか 3.5 秒と圧倒的な性能を発揮します。685Nm の最大トルクに変化はありませんが発生域はさらに広くなり、トランスミッションを改良したことで、アップシフト時、ダウンシフト時の両方でダイレクト感、精度およびコントロール性能が向上しました。ベアングリルと新しいフロント・スプリッターを組み合わせることで、200km/h 走行時に 155.6kg のダウンフォースを発生します。これは、量産バージョンの Vantage が同じ速度で発生する値を 60kg 以上も上回っています。サスペンション、ステアリング、ダンパーなどにも改良が施され、さらにアンダーボディのブレーシングも細部にわたって手直しが行われ、構造剛性も向上しています。車両全周にエアロキットを装着し、ロープロファイル・タイヤを装着するアストンマーティン Vantage オフィシャル・セーフティーカーは、F1®マシンが走るサーキットで活躍する資格を完璧に備えています。

アストンマーティンはスポーツカー・レースの世界において輝かしい業績を残しています。昨年はル・マン 24 時間レースの複数クラスでタイトルを手中に収め、FIA 世界耐久選手権でマニファクチャラー・チャンピオンを獲得しました。これらの成功からフィードバックされた技術的な進化は、フォーミュラ 1®で使われるセーフティーカーに搭載されるシステムにも貢献しています。セーフティーカーが持つ独自の要件では、トップスピードからクールダウン・ラップなしにピットレーンでのアイドリング状態に戻ることができなければなりません。そのため、信頼性が高く堅牢な熱管理システムが非常に重要な要素となります。数多くの栄冠を手にしてきた Vantage GT4 レースカーに使われ、極限状況および過酷な温度環境下での性能が証明された冷却システムを備えたアストンマーティンは、そのテクノロジーをセーフティーカーにも採用しています。ボンネットには、冷却効率をさらに高めるためにエアベントが追加されました。

Vantage 市販車が装着するピレリ製ロードタイヤと組み合わせて、高性能なカーボンセラミック・ブレーキがセーフティーカーにも搭載され、フロントグリルには外から見えない位置にブレーキダクトが追加され、冷却性能を高めています。

セーフティーカーの外装は、2021 アストンマーティン・レーシンググリーンを纏ったアストンマーティン・コグニザント・フォーミュラ 1®チームのマシンからヒントを得たもので、60 年にわ



ASTON MARTIN

たるブランクを経てフォーミュラ 1®の世界へと戻ってきたことを記念して特別に開発されました。セーフティーカーのフロント・スプリッターは「ライム・エッセンス」のピンストライプがハイライトとなります。このカラーはレースの血統を物語るもので、最近では FIA 世界耐久選手権 (WEC) に参戦して、素晴らしい結果を残した Vantage が採用していたものです。フォーミュラ 1®のオフィシャル・セーフティーカーが採用する他の特徴とは、FIA セーフティーカー専用のグラフィック、ボディサイドにマウントした無線アンテナ、LED リア・ナンバープレート、そしてアストンマーティンが手がけたルーフマウント式のカスタム LED ライトバーなどがあります。

このライトバーは、ルーフラインよりも高い位置にあるカーボンファイバー台座に据えられます。プロファイルはエアロダイナミクスを念頭においたもので空気抵抗は最小に抑えられ、エアフローを整えて大型リアウイングへと導くように設計されています。このオフィシャル・セーフティーカーがサーキットに導入される際には、鮮やかなオレンジがライトバーの外周部に点灯します。レースリーダーのマシンの前に到達したら、中央部にある黄色いライトが点滅して全面的な追い越し禁止を示します。安全が確保されてレースが再開となった場合は、中央部に 2 つ設置されたグリーンのライトが点灯します。また、ヘッドライトとテールライトも点滅して、セーフティーカーの安全なコース進入をサポートします。リアのナンバープレートは LED 照明によって SAFETY CAR の文字が浮かび上がり、あらゆる天候条件で後方から明確に視認することができます。ライトバーには後方用カメラも設置されていて、ライブ画像を室内に設置された 2 番目のバックミラーに送り、コ・ドライバーが後方のマシンの動きを監視できるようになっています。

車内を見ると、市販車用のシートは、FIA 認証のレーシングシートに交換され、F1®マシンと同じ 6 点式ハーネスを装備しています。ダッシュボードには 2 つの画面が取り付けられており、ドライバーとコ・ドライバーに対してライブのテレビ映像と、最新のラップタイムや走行する車両の位置などのカスタマイズ可能な情報が提供されます。センターコンソールもまた、大幅に変更されています。ロータリー・ダイヤルはカップホルダーの位置まで移動され、空いた場所にはサイレンの起動、無線通信、ライトバーの LED 制御といったさまざまな作動を制御するスイッチ・コントロール・システムが設置されます。インストルメント・クラスターとダッシュボードには「マーシャリング・システム」が統合され、ドライバーとコ・ドライバーはサーキット上で何色のフラッグが出されているか LED の色で判断することが可能となってい



ASTON MARTIN

ます。これは、F1®マシンに搭載が義務づけられているシステムと同じものです。車両の最上部と車内には TV カメラが設置され、テレビのライブ放送を受信することができます。

セーフティーカーのドライバーであるベルント・マイレンダーは、次のようにコメントしています。「世界中のフォーミュラ 1®ファンは私と同様、アストンマーティンがサーキットに戻ってくることを喜んでいます。このオフィシャル・セーフティーカーは美しく、高いパフォーマンスを備えたクルマであり、アストンマーティンのエキサイティングな新時代を示すものです。」

アストンマーティン DBX - フォーミュラ 1®のオフィシャル・メディカルカー

2021 年のフォーミュラ 1®オフィシャル・メディカルカーの一翼を担うのは、アラン・ヴァン・デル・メルヴェ(南アフリカ出身の 41 歳)が運転するアストンマーティン DBX です。セーフティーカーと同様、メディカルカーもライム・グリーンのアクセントを配した 2021 アストンマーティン・レーシンググリーンを纏っています。他の特徴としては、FIA メディカルカー専用グラフィック、LED リア・ナンバープレート、ルーフレールに装着した LED ライトバーなどが挙げられます。

DB11 や Vantage にも搭載される排気量 4.0 リッターのツインターボ V8 エンジンは、550PS の最高出力と 700Nm の最大トルクを発生し、0~100km/h 加速は 4.5 秒、最高速度は 291km/h に達します。これらの要素により、FIA 医療チームは緊急事態に迅速に対応することができます。アストンマーティンならではのサウンドを奏でるアクティブ・エキゾースト・システムにより、DBX は外見ばかりでなくサウンド面でも存在感を発揮します。

フォーミュラ 1®のオフィシャル・メディカルカーには大型の医療バッグ、AED(自動体外式除細動器)、消火器 2 台、火傷対応キットなどといった大量の装備類を搭載しなければなりません。632 リットルのトランクスペースを備えた DBX は、十分な余裕があります。

インテリアのトリムは基本的に市販車両から変更はありませんが、リアシート中央席は除去されて 4 人乗りとなり、それぞれの位置に 6 ポイントのセーフティー・ハーネスを備えたスポーツ・バケットシートが装着されます。運転席にはアラン・ヴァン・デル・メルヴェ、残りの席には FIA フォーミュラ 1®メディカル・レスポンス・コーディネーターである Dr. イアン・ロバーツと地元の医師が乗り込みます。残りの 1 名分は、ドライバーを乗せてピットレーンまで移送しなければならない時のために空けてあります。セーフティーカーと同様、ダッシュボード



ASTON MARTIN

には2つのスクリーンが設置されており、レースのライブ映像を提供します。もう1つのスクリーンには、最先端テクノロジーを駆使したレーシング・グローブ(手袋)が計測するドライバーの生理学的データがリアルタイムで表示され、事故発生時には、ドライバーの状態について重要な情報を手に入れることができます。またこのメディカルカーにも「マーシャリング・システム」および後方の状況を伝えるカメラ・ディスプレイが搭載されます。

フォーミュラ 1®のオフィシャル・セーフティーカーおよびオフィシャル・メディカルカー開発は、アストンマーティン本社のエンジニアリングチームが担当しました。いずれの車両も、シルバーストンにあるアストンマーティンの施設において高速耐久性評価やアグレッシブなサーキット走行などを初めとするテストを繰り返し、合計走行距離は 15,000km にも上りました。あらゆる天候条件で性能を発揮できるよう、ダイナモ気候チャンバーでのテストも実施されました。

アストンマーティン・ラゴンダ最高経営責任者(CEO)のトビアス・ムアースは、次のように述べています。「全従業員と同様に、私も 60 年の時を経て、アストンマーティンがモータースポーツの頂点であるフォーミュラ 1®に復帰したことを誇りに思っています。これはアストンマーティンの重要な新時代のスタートです。私たちが製造するもっともダイナミックなスポーツカーであり、高い評価を受けている Vantage がフォーミュラ 1®オフィシャル・セーフティーカーに、アストンマーティン初の SUV である DBX がフォーミュラ 1®オフィシャル・メディカルカーに選定されました。世界中のサーキットで、これらの車両がその役割を果たすのを目にする体験は、私たちにとって誇り高い瞬間となるでしょう。」

アストンマーティン・ファンの皆様は Vantage ベースのオフィシャル・セーフティーカーを初めて目にするのができるのは、3 月 12 日から 14 日までの 3 日間、バーレーンで行われるプレシーズン・テストとなるでしょう。もちろん、2 週間後に同じ場所で行われる FIA フォーミュラ 1®世界選手権の開幕戦にも登場します。

フォーミュラ 1®ガルフエア・バーレーン・グランプリ 2021 は、2021 年 3 月 28 日(日)の午後 4 時(世界標準時、日本時間:3 月 29 日午前 1 時)から生中継されます。

こちらのプレスリリースに関する画像は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-lFth3Uvy6j>



ASTON MARTIN

###

アストンマーティン・ラゴндаについて:

アストンマーティン・ラゴндаは、エクスクルージブなスポーツカーと SUV の製造を専門とする、ラグジュアリー・オートモーティブ・グループです。アストンマーティン・ブランドは、最先端の技術、卓越したクラフトマンシップ、時代を超越したデザインを融合することにより、Vantage、DB11、Rapide AMR、DBS Superleggera、新型 SUV の DBX といった先駆的なモデルを生み出しています。英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界 51 か国で販売しています。

ラゴндаは 1899 年に、アストンマーティンは 1913 年に設立されました。この 2 つのブランドは、1947 年にデイヴィッド・ブラウン卿が買収して統合されました。

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

Aston Martin Japan の [Twitter](#) も開設されていますので、併せてご確認ください。

メディア問い合わせ先:

アストンマーティン ジャパン PR

谷田 恵美

megumi.tanida@astonmartin.com

コスモ・コミュニケーションズ アストンマーティン PR チーム

Tel: 03-6434-5839

今野 博文

M: 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp

田村 沙智

M: 090-5476-2554

sachi_tamura@my-z.co.jp